

2003 教文ニュース No.2

2003.4.23

愛知県高等学校教職員組合教文部

教育基本法の改悪は憲法改悪と戦争への道

中教審最終答申を切る

1. なぜ教育基本法が見直しなのか、示されていません。答申は、「はじめに、見直しありき」です。日本社会や学校教育の抱える様々な問題や課題なるものを列挙していますが、それらが教育現場に起因する問題なのか、家庭・社会に起因する問題なのか、それとも教育行政の不十分さによるものなのか見極めていません。

私たちは、教育基本法の理念が実現されたかどうかを深く総括し、教育基本法を学校と教育にどのように生かしていくのかを検討して行かなければならないと考えます。



2. 今回の中教審の審議過程について、時間的にも、手続き的にも、国民の合意形成の面でも、あまりにも多くの問題が指摘されました。まず、文部科学省が、見直しを前提とした諮問をしたこと、審議が低調で5回も定足数を割り懇談会と名を変え進められたこと、充分議論がまとまっていない段階で「中間報告」が公表されたこと、公聴会では「改正」に偏重した人選を行ったこと、委員の補充については諮問した側の文部官僚を答申側に据えたことなど

報道されており、準憲法的な性格を有する教育基本法の改正についての答申を行うには、あまりに拙速で、慎重な論議に欠けたと言われてもしかたがありません。

3. 答申は「家庭の責任、家庭教育の役割」「国や地方公共団体による支援」を教育基本法に明記すべきだとしています。このことは、国家が本来私事である家庭教育に踏み込み、私生活への過剰な介入を容認・促進するもので、法が関与できる範囲をはるかに超えるものと考えます。
4. 答申は、男女共学の規定を削除することが適当としています。これは男女共同参画社会を実現しようとしている政府や自治体のすすめる施策にも反し、教育制度・教育課程・教育現場になお存在する女性差別を改めるということから問題であると考えます。
5. 答申は「宗教の持つ意義を尊重することが重要」との見地から宗教的情操に関する教育を「道徳

を中心とする教育活動の中で」行うとしている点は、「意義」そのものが曖昧な上に、信教の自由に踏み込むおそれがあると考えます。

6. 答申は「大競争時代」の国際社会で競争にうち勝つことのできる「心豊かでたくましい日本人の育成」を教育目標に掲げています。教育は、一人ひとりの人間の自己形成を促進し支援する営みであるべきです。特定の社会や国家の目的のために教育を従属させることは戦前の皇民化教育、国家主義・軍国主義教育の反省を持たないものであると考えます。また、市場原理にもとづく競争主義の強化は、一握りのためのエリート教育に直結し、子どもたちの危機がいつそう深まることが懸念されます。
7. 答申は教員に対し、教基法第6条2項で「自己の使命を自覚し、その職務の遂行に努め」とあるにもかかわらず、更に「研究と修養に励み、資質向上を図ることの必要性」を規定すべきとしています。このことは、行政研修の強化や教員評価などによる教員管理の一層の強化につながり、私たち教員の自主的・意欲的な活動を萎縮させ、子どもたちと向き合う教育を困難するものといえます。
8. 答申は、「国を愛する心」「公共(=「国家」に矮小化している)の精神」「道徳心」が重要だとし、教育基本法に規定するとしています。このことは、あらゆる教育の場において、これまで以上の強制力をもって、国などへの精神的帰属性を強めようとするものです。憲法が保障する思想の自由、良心の自由を侵すものであって、心の有様は法律で規定すべきないと考えます。
9. 答申は、教基法に「教育振興基本計画」の策定の根拠条項を置くことを求め、その「在り方」について答申し、さらに教育の条件整備には教育内容等も含まれると述べていることは重大です。

教育は「未来への先行投資」といえます。1999年比較で、教育に対する公費の投入は、OECD諸国平均が4.9%であるのに対し、日本は3.5%と1ポイント以上も低くなっています。逆に予算規模そのものは変えず、「教育投資の効率化」の名のもと能力主義・競争主義に基づき、教育内容・財政措置に格差をつけた学校自体の再編すら進められています。答申では、30人学級の実現や、遅れている施設・設備の整備・充実など、すべての子ども・青年を対象とした財政支出は検討さえされていません。

答申は、国の教育条件整備についての責任をあいまいにしたまま、事実上、教育危機の主要な原因を教育現場だけに押しつけるものとなっています。現場で汗を流し、生徒と向き合って奮闘している教職員の思いに応えるものになっていません。

さらに、教育目標と教育内容を細かく規定した「基本計画を」を教育基本法に位置づけることは、時の政権による公教育への介入に道を開くことに繋がるものです。

